

東京国立博物館 ニュース

TOKYO NATIONAL MUSEUM NEWS

「願い」が「形」になる。



3月10日(火)より、「博物館でお花見を」開催!

今号のイチ推し!

重要文化財 陣羽織 猩々緋羅紗地違鎌模様

本館展示室番号の見直しについて

4月8日(水)より、本館展示室の番号は右記の通りとなります。展示構成(1階=ジャンル別展示、2階=日本美術の流れをたどる時代別展示)に変更はありません。さまざまなご意見を受け、館内で検討を重ねた結果、展示室番号を1階から順に1室とすることにしました。

本号には3月までの展示も含まれるため、旧番号と新番号を併記せず、本館のみ階数と展示室名のみ記載しています。

4月5日まで(旧番号)	4月8日以降(新番号)
1階: 11室~19室	▶ 1階: 1室~9室
2階: 1室~10室	▶ 2階: 11室~20室
特別1室、特別2室、特別3室、特別4室、特別5室	▶ D室、E室、B室、C室、A室



いろ え おう じゆ す ずかしはち
色絵桜樹図透鉢
仁阿弥道八作
江戸時代・19世紀

1階
陶磁

展示期間:
3月10日(火)~5月31日(日)

色絵で表された桜の木が鉢の内と外に描かれることで遠近感を生み、奥行きのある空間をつくり出しています



1階
近代の美術

あらし やま しん じゆん けい
嵐山春景

しおかわらんりん
塩川文麟筆
明治6年(1873)
塩川文麟氏寄贈

展示期間: 3月10日(火)~4月19日(日)

桜の名所、京都嵐山の春景色。霞立つ桜の情景を、写生をもとにして描いています



おう か さん じやく す つば
桜花山鵲図鐺

つかだ しゆ けい
塚田秀鏡
明治3年(1870)

展示期間:
3月3日(火)~8月2日(日)

おもての面の上下には、山鵲という尾の長い2羽の鳥が飛び、左右には桜の枝が金・銀で表現されています

※おもての面は5月24日(日)までの展示となります。

1階
刀剣

桜イベント

東博句会「花見で一句」

「博物館でお花見を」の期間中、桜をテーマにした俳句を募集します。桜咲く庭園や、桜をモチーフにした作品をテーマに、一句詠んでみませんか。応募方法などの詳細は、当館ウェブサイトをご確認ください。

お花見ヨガ in 法隆寺宝物館

毎年大好評のお花見ヨガを今年も実施します。法隆寺宝物館エントランスで、桜をみながら心と体をリフレッシュしてみませんか。ヨガマットを使ったヨガや椅子ヨガなど、お好みのスタイルで気軽にお楽しみいただけます。実施日時等の詳細は、当館ウェブサイトをご確認ください。

さくら さい ぎやう まき え すずり はこ
桜西行時絵硯箱

江戸時代・18世紀

展示期間:
3月17日(火)~5月24日(日)

蓋のおもてには満開の桜と、その下に憩う老僧の姿を描いています。奥行きを感じさせる空間に、鮮やかな桜花の姿が映える見事な表現です

1階
漆工



特集

金糸で織り出された美しい花葉文

たん じ か よう もん よう きん らん おお けい どう きん らん
丹地花葉文様金襴 大鶏頭金襴

中国 元時代・14世紀
前田家伝来

大きな花葉文が鶏頭の花に似ることから「大鶏頭金襴」と称されました



(部分)

色彩豊かに表された飛魚の姿

ひ ぎょ ほう たん もの へ に くも ん よう どん す じ めい とり おり
飛魚袍反物 紅雲文様緞子地縫取織

中国 明時代・16世紀 前田家伝来

し そりりやう
四爪龍に似た、飛魚という空想上の動物を織り出した、長さ15mにもおよぶ反物です

古裂鑑賞のいろは 一加賀藩前田家伝来 名物裂の世界一

東洋館5室 4月21日(火)~7月12日(日)

茶の湯の世界では、有名な茶人や寺院などに由縁を持つ舶来の染織品を「名物裂」として尊びました。加賀藩前田家は、3代当主前田利常(1593~1658)の時代より、さまざまな裂を収集したことで知られます。そのコレクションの一部は、昭和に入り当館にも収蔵されました。本特集では、前田育徳会創立百周年記念 特別展「百万石! 加賀前田家」(→5ページ)にあわせ、作品の拡大写真などを交えながら、一見難しく思える古裂の味わい方、楽しみ方をご紹介します。(沼沢ゆかり)

【特別企画】

アイルランド チェスター・ビーティー・コレクション

絵巻と絵本のたからばこ

本館2階 4月27日(月)～7月20日(月・祝)

主催 東京国立博物館、チェスター・ビーティー 協力 アイルランド文化・スポーツ・通信省

本展は、チェスター・ビーティー所蔵の選りすぐりの日本の物語絵25点をご紹介します。王朝貴族のラブロマンス、合戦をめぐる悲哀、動物や鬼たちとの交流など、想像力豊かな日本の物語絵が一堂に会します。同館でも、これだけの作品を一度にみることはなかなかできません。この貴重な機会に、美しく、そして楽しい物語絵の数々をお楽しみください。

(土屋貴裕)

鬼気迫りながらもユーモラス

酒呑童子絵巻(巻下)

江戸時代・17世紀

源頼光による鬼退治の物語。迫力満点のクライマックスがみどころです (村瀬可奈)



(部分)

悲恋の物語を壮麗に描く

長恨歌絵巻(巻上)

狩野山雪筆

江戸時代・17世紀

展示期間:4月27日(月)～6月7日(日)



(部分)

狩野山雪の描いた、玄宗皇帝と楊貴妃の悲恋を主題とする豪華絵巻です (土屋貴裕)

あの英雄が地獄でも大暴れ

義経地獄破り

江戸時代・17世紀

修羅道に墮ちた源義経が平家の武将たちも仲間に加え、地獄を征服する物語です (野中愛理)



(部分)

ヨーロッパ有数の日本美術コレクション

チェスター・ビーティー (アイルランド)

アイルランドの首都ダブリンにある国立の文化施設で、実業家チェスター・ビーティー卿が世界から集めた写本や貴重書など2万5千点以上の文化財を所蔵、日本美術コレクションは約1,900件を数えます。

(鬼頭智美)



チェスター・ビーティー外観

作品はすべてアイルランド チェスター・ビーティー蔵
Images: Courtesy of the Trustees of the Chester Beatty Library, Dublin.

親と子のギャラリー 博物館でバクめぐり

本館1階 5月12日(火)～6月21日(日)

東京都恩賜上野動物園と国立科学博物館との連携企画「上野の山で動物めぐり」。19回目の開催となる今回のテーマは「バク」。東アジアで古来しられる「ばく」は、悪い夢を食べると信じられた想像上の動物です。一方、バク科の哺乳類である動物のバクは、近代以降その名前を借りたもので、本来は無関係ですが、今日では夢を食べるイメージが広く定着しています。本特集では、絵画や調度品を通して、伝説上の瑞獣である獺の造形をご覧ください。(西木政統)

獺があしらわれた 縁起の良い枕

南天獺時絵枕

江戸時代・18世紀

悪夢を食べると信じられたため、獺が枕のデザインに使われました



(部分)

獺の姿を 想像力豊かに描く

鳥獣戯画 乙巻(模本)

山崎重詮模 明治時代・19世紀
原本:平安時代・12世紀

獺は、鼻は象、体は熊に似ると考えられた瑞獣として知られます

東洋館

白磁を彩る爽やかな緑釉

白磁緑彩龍濤文鉢

中国・景德鎮窯 「大明正徳年製」銘
明時代・正徳年間(1506~21) 比佐隆三氏寄贈

4月8日(水)~8月16日(日)

5室 中国の陶磁



強大な勢力を誇った明王朝と歩みをあわせるように、生産力を伸ばした15~16世紀の景德鎮官窯では、多彩な器種が登場し、さらにさまざまに技巧を凝らした製品がつくられるようになりました。本作品は五爪の龍を線刻で表し、その部分だけ透明釉をかけずに焼成して上から緑釉で彩ったものです。これは正徳年間の官窯でさかんに行われた装飾法のひとつで、気品漂う美しい白色の素地と明るく爽やかな上絵具の発色が大きな魅力となっています。

(三笠景子)

絵画が紡ぐ恋の調べ

弓を番えながら戯れる男女
(ヴィバーサ・ラーギー)

ブーンディー派 インド 18世紀前半

4月14日(火)~5月17日(日)

13室 インドの細密画

インドの細密画には、「ラーガマーラー(楽曲絵)」とよばれる音楽と絵画が融合した独特な表現があります。ラーガマーラーは、インド古典音楽のさまざまな旋律であるラーガを絵画化しています。

本作品は、月明かりの夜に男性が女性を抱きかかえながら、花の弓に矢を番えています。彼が射落とそうとしているのは屋根の上に止まっている孔雀です。なぜなら孔雀は夜明けを告げるべく甲高い声で鳴こうとしているからです。今宵のロマンスがいつまでも続いてほしいというふたりの思いを描いています。

(勝木言一郎)



本館

一族への祈りを込めた晩年の筆

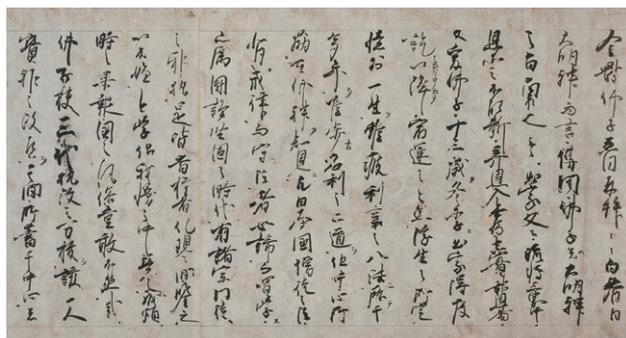
願文

慈円筆
鎌倉時代・貞応3年(1224)

4月8日(水)~5月24日(日)

2階 仏教の美術—平安~室町

関白藤原忠通の子で、天台座主を務めた慈円(1155~1225)が、氏神の春日大明神に祈願した際の文書です。神仏の前で願いを述べる表白という形式で、本文には訓点が付されます。「春日大明神に白して言さく」とはじまり、13歳で出家して以来、仏道と政道のために歩んできた人生を顧みて、将来の政を担う一族への加護を祈っています。筆致は力強く勢いに満ち、鋭く張りのある線と、自然に移ろう美しい墨色がみられます。慈円70歳、亡くなる前年に立てた願いは、父譲りの雄渾な書風で表され、後世に伝えられました。(六人部克典)



(部分)

短冊に思いをはせる可憐な姿

七夕の短冊を書く美人

鈴木春信筆 江戸時代・18世紀

6月16日(火)~7月20日(月・祝)

2階 浮世絵と衣装—江戸(浮世絵)

旧暦7月7日の七夕の夜には、五色の飾りをつけた竹に願いを書いて飾りました。円窓のなかの若い女性は、短冊や梶の葉を並べ、どのような願いごとをしたためようかと思索しています。

彼女の振袖にあしらわれた鮮やかなかきつばたの模様は、東国へ下る男が三河国でかきつばたをみて、都に残した女を思って歌を詠む『伊勢物語』第九段「八橋」を思わせます。作中にしばしば古典文学の題材を取り入れた春信らしい趣向といえます。この女性も誰かに思いをはせているのでしょうか。(村瀬可奈)



黒田記念館

画家の信心深さを映し出した風景

稲荷神社

黒田清輝筆 大正11年(1922)

4月8日(水)～7月12日(日)

黒田記念室



麻布斧町(現在の港区西麻布)にあった、黒田清輝の義父清綱邸の稲荷神社が描かれています。明るい光が差し込む画面左側とは対照的に、右奥によどむ濃い緑の影が、木々のなかにひっそりとたたずむ社の姿を際立たせています。自邸(現在の千代田区平河町)の庭にも先祖を祀る社があり、黒田はどんなに夜遅くなくても必ず参拝したと伝えられています。洋画の第一人者の意外にも信心深い一面を伝える作品ですが、この小さな稲荷神社には、どのような祈りがささげられたのでしょうか。

(吉田暁子)

法隆寺宝物館

1300年色あせず輝く飛鳥時代の優品

蜀江錦帯

飛鳥時代・7世紀

4月14日(火)～5月10日(日)

第6室 染織一蜀江錦と白氈



(部分)

連珠をめぐらせた蓮華を、小さな格子に収めた可憐な錦です。奈良・斑鳩の法隆寺に伝えられた飛鳥時代の錦のなかでも、とりわけ長大かつ精緻な織りの優品で、法隆寺では聖徳太子の御妃である膳妃の帯と伝えられます。江戸時代には、錦の生産地として漢詩に詠われた蜀(中国・四川地域)の名を冠し「蜀江錦」という美称でよばれるようになりました。1300年以上を経てなお保たれる、鮮やかな色彩と絹の光沢にご注目ください。

(廣谷妃夏)

法隆寺宝物館中2階
デジタルコンテンツがリニューアル!

3月10日(火)にオープン予定です。
どうぞお楽しみに。

平成館

4月8日から始まる新たな展示

深鉢形土器

北海道室蘭市祝津町出土
縄文時代(前半期)・前4～後1世紀
渡辺又蔵氏寄贈

4月8日(水)～9月6日(日)

考古展示室 縄文時代後の北海道
一縄文文化・オホーツク文化・擦文文化一



平成館考古展示室では、4月8日より「縄文時代後の北海道」と題して、これまでご紹介する機会がなかった3つの文化の展示をはじめます。

寒冷な気候のために水田稲作が定着しなかった縄文時代の北海道では、縄文時代の伝統を引き継ぎつつ、漁撈・狩猟・採集を生業にした独自の文化が営まれました。これらの文化を縄文文化(前4世紀～7世紀)、オホーツク文化(5～12世紀、北海道では9世紀まで)、擦文文化(7世紀～12世紀)とよんでいます。本例は縄文時代の土器で、主に煮炊きに使われました。ぜひ展示室でご覧ください。

(飯田茂雄)

「東博能」を開催します

4月17日(金)～6月7日(日)

特別展「百万石! 加賀前田家」と連動して、本展会期中に宝生流による特別公演「東博能」を開催します。本企画では、本館1階に特設能舞台を設置。宝生会所蔵の重要文化財や前田家ゆかりの品々を舞台上で実際に使用し、多彩なプログラムを通じて能の魅力を伝えます。



「東博能」公式サイト

前田育徳会創立百周年記念

特別展「百万石! 加賀前田家」

4月14日(火)～6月7日(日)
平成館特別展示室



◎大名物 唐物茄子茶入 銘 富士

南宋時代・13世紀 前田育徳会蔵

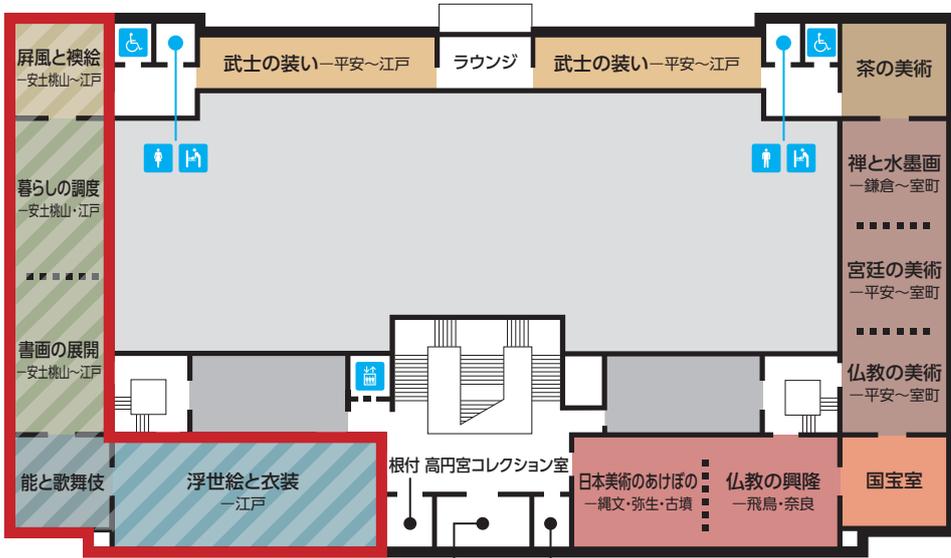


●太刀 銘 光世作(名物 大典太)

平安時代・12世紀 前田育徳会蔵

特別展紹介

江戸時代を通じて最大の石高を擁した加賀前田家にとって、武家の名門としての権威を象徴する刀剣は特別な存在でした。武家間で流行した茶の湯道具もまた、道具の所持に象徴的な意味がありました。足利將軍家から豊臣秀吉を経て加賀前田家初代・利家に伝わった「大典太」や「富士」など、本展ではその家格を語る重宝の数々をご覧ください。



4/7(火)まで閉室

本館めぐり

日本美術の流れ

2階

- 男性トイレ
- 女性トイレ
- ベビーベッド
- 多目的トイレ
- エレベーター
- びんでん便殿

国宝室

4/14(火)-5/10(日)

● **一遍聖絵 巻第七**
 一遍の事跡を美しい自然や街の賑わいとともに描く、鎌倉絵巻の代表作です

● **和歌体十種断簡**
 平安時代・11世紀

仏教の興隆 —飛鳥・奈良

通期展示

● **興福寺鎮壇具 銀大盤**
 奈良時代・8世紀
 奈良市興福寺中金堂須弥壇下出土
 興福寺中金堂の鎮壇のために埋納された銀製の大型の盤です

● **菩薩立像**
 飛鳥時代・7世紀

日本美術のあけぼの —縄文・弥生・古墳

-6/28(日)

● **巻貝形土製品**
 縄文時代(後期)・前2000～前1000年
 新潟県村上市 上山遺跡出土
 貝をリアルに表現した、東北地方を中心にみられる祭りの道具です

-6/28(日)

● **単龍環頭柄頭**
 古墳時代・6世紀
 兵庫県養父市 大敷古墳群出土
 丹波甚太郎氏寄贈

宮廷の美術 —平安～室町

5/26(火)-7/12(日)

● **猫の草紙 (渋川版御伽草子のうち)**
 猫が放し飼いになった理由とは? 本作のほか、渋川版御伽草子全23冊を一挙公開

4/8(水)-5/24(日)

● **百鬼夜行絵巻 (模本)**
 江戸時代・19世紀 模者不詳

仏教の美術 —平安～室町

-4/5(日)

● **阿彌陀聖衆来迎図**
 鎌倉時代・14世紀

禅と水墨画 —鎌倉～室町

4/8(水)-5/24(日)

● **白衣観音図**
 吉山明兆筆、健中清勇賛
 室町時代・15世紀

さまざまな水墨技法が駆使された観音図です。美しい描線にご注目ください

-4/5(日)

● **一行書 「教外別伝不立文字」**
 一休宗純筆
 室町時代・15世紀

4/8(水)-5/24(日)

● **春日宮曼荼羅**
 鎌倉時代・13世紀

奈良・春日大社の境内を厳かに描きます。境内散策の気分を味わえます

武士の装い —平安～江戸

4/21(火)-7/12(日)

いかけじあらいもん 安きえらでんのうちがたな
沃懸地葵紋蒔絵螺鈿打刀
(国宝 太刀 福岡一文字助貞の拵)

江戸時代・19世紀

紀州徳川家伝来の国宝「太刀 福岡一文字助貞」の拵。
 葵紋が全体に飾られています



4/14(火)-7/5(日)

こんいとおどしなんばんどうくぞく
◎紺系威南蛮陶具足
 安土桃山時代・16世紀



茶の美術

-4/19(日)

しのそうかもんむこうづけ
志野草花文向付

美濃
 安土桃山～江戸時代・16～17世紀
 松永安左工門氏寄贈

志野らしい穏やかな釉調(ゆうちょう)、のびやかに描かれた木賊(とくさ)、沢瀉(おもだか)、菖蒲(しょうぶ)がみどころです



4/21(火)-7/12(日)

せいじれんべんもんわん
青磁蓮弁文碗

中国・龍泉窯
 南宋～元時代・13～14世紀
 広田松繁氏寄贈



屏風と襖絵 —安土桃山～江戸

5/26(火)-7/12(日)

さんすいずびょうぶ
山水図屏風

かいほうゆうしほ
 海北友松筆
 安土桃山時代・慶長7年(1602)



(右隻)

4/8(水)-5/24(日)

さんすいずびょうぶ
◎山水図屏風

さかきびせん
 彭城百川筆
 江戸時代・延享4年(1747)

名古屋の文人画家、彭城百川の代表作。
 細かい筆線や点描がみどころです



書画の展開

—安土桃山～江戸

絵画

5/26(火)-7/12(日)

ゆうりず
游鯉図

なかにまらいろ
 中島来章筆
 江戸時代・19世紀

円山派のお家芸である鯉の描き方を引き継いだ、涼やかな来章の作品です



書跡

4/8(水)-5/24(日)

ししよびょうぶ
詩書屏風

ぬまなすうお
 貫名松翁筆
 江戸時代・安政4年(1857)

暮らしの調度

—安土桃山・江戸

4/8(水)-6/21(日)

ふしだなまきえしよげんたい
藤棚蒔絵書見台

江戸～明治時代・19世紀
 矢野鶴子氏寄贈

一部を透かし、支柱を藤棚の一部とする発想に洒落味を感じます



6/23(火)-9/6(日)

なすこがねむすいでき
茄子に黄金虫水滴

江戸時代・18～19世紀
 渡邊豊太郎氏・渡邊誠之氏寄贈



浮世絵と衣装 —江戸

5/12(火)-6/14(日)

きょうとめいしょのうちよどがわ
京都名所之内・淀川

歌川広重筆
 江戸時代・19世紀

満月の夜、京都から大坂へと大勢の乗客を運ぶ、賑やかな船旅の一場面です



6/16(火)-7/20(月・祝)

じつくさいろのみななみ
**實競色乃美名家見・
 玄宗皇帝、楊貴妃**

喜多川歌麿筆
 江戸時代・18世紀



4/8(水)-6/28(日)

こそううすきちりめんじ
**小袖 淡黄縮緬地
 百合葎蒲公英模様**

江戸時代・18世紀



4/8(水)-6/28(日)

うちかけべにりんずじ
**打掛 紅綸子地
 御薬玉桜模様**

江戸時代・18世紀

厄除けの模様。古来、日本では端午の節句に薬玉を飾りました



能と歌舞伎

4/8(水)-6/28(日)

かりぎぬ

**狩衣
 紺地雲龍丸模様**

江戸時代・18世紀
 上杉家伝来

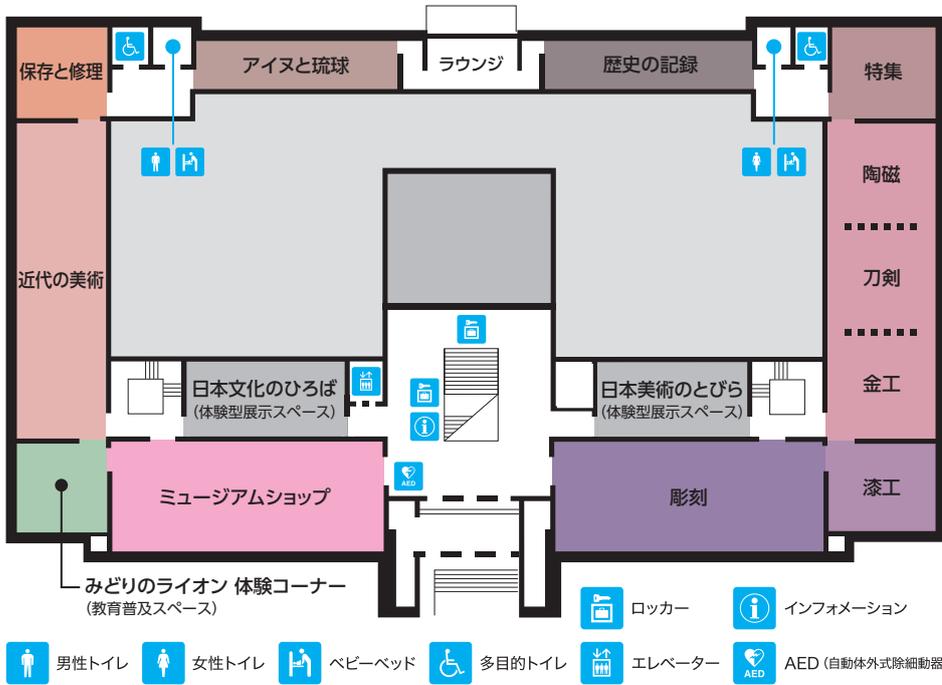
霊力を持つ神の役にふさわしい、雲龍丸を金糸で織り出した模様



4/8(水)-6/28(日)

のうめんくろひげ
能面 黒髭

【徳若作】銘
 江戸時代・18世紀
 上杉家伝来



本館めぐり

ジャンル別展示

1階

金工

3/10(火)-5/31(日)

こんどうぼたんもんけい
金銅牡丹文馨

鎌倉時代・13世紀

一般的な山形の馨ですが、牡丹の文様を表すのは珍しいといえます

6/2(火)-8/23(日)

かにがたすいでき
蟹形水滴

江戸時代・19世紀

漆工

3/17(火)-5/24(日)

ねんちまきえしやりざし
蓮池時絵舍利厨子

厨子時絵五十嵐作、厨子彫刻道園作、舍利塔後藤程乗作
江戸時代・寛文12年(1672)
蓮華寺旧蔵

舍利(釈迦の遺骨)を納める厨子。時絵は五十嵐道甫(いがらしどうほ)の作とみられます

5/26(火)-8/16(日)

やつはしまきえらでんすずりばこ
●八橋時絵螺鈿硯箱

尾形光琳作
江戸時代・18世紀

彫刻

-4/5(日)

さいぎょうほうしりゅうぞう
西行法師立像

江戸時代・17~18世紀

桜の歌を詠んだことで知られる西行法師が旅をする姿です

4/8(水)-6/28(日)

きちりょうてんりゅうぞう
吉祥天立像

平安時代・10世紀
京都・大宮神社(亀岡市)伝来

刀剣

-5/17(日)

たちめいぶつどうしざりやすつな
●太刀(名物 童子切安綱)

伯耆安綱
平安時代・10~12世紀

天下五剣として名高い名刀。酒呑童子という鬼を切ったと伝わります

3/3(火)-8/2(日)

おうかさんじやくすつば
桜花山鵲図鐺 (→2ページ)

塚田秀鏡
明治3年(1870)

陶磁

6/2(火)-9/27(日)

いろえかしわざそうちようずおおざら
色絵柏樹双鳥図大皿

鍋島
江戸時代・17世紀
広田松繁氏寄贈

-5/31(日)

さびえじつていわかたんだくざら
錆絵十体和歌短冊皿

乾山、「八十一歳乾山」錆絵銘
江戸時代・寛保3年(1743)

尾形乾山(深省)(おがたけんざん しんせい)晩年の作で、短冊に見立てた皿に和歌が書き込まれています

アイヌと琉球

-3/22(日)

締太鼓

沖縄本島
第二尚氏時代・19世紀



-5/10(日)

アイヌ鉞形

北海道アイヌ 北海道
栗山町角田字桜山出土
19世紀

尾田勝吉氏・泉麟太郎氏
寄贈

兜の鉞形を模した器
物で、災いを払う祭具
として用いられました



歴史の記録

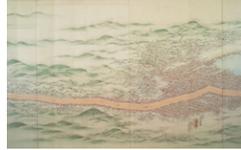
-4/19(日)

◎東海道分間延絵図

大津、三井寺、京都

道中奉行所編
江戸時代・文化3年(1806)
浅草文庫旧蔵

東海道53番目の宿
駅、琵琶湖を臨む
大津宿の場面です



(部分)

4/21(火)-5/24(日)

◎東寺大師堂 壬申検査関係写真

横山松三郎撮影
明治5年(1872)



キリシタン関係 遺品の保存と研究

3/24(火)-5/10(日)

◎観音菩薩坐像

中国・徳化窯
明～清時代・17世紀
長崎奉行所旧蔵品
(安政3年長崎奉行所に収納)



親と子のギャラリー 博物館でバクめぐり

5/12(火)-6/21(日)

北斎漫画 二編

葛飾北斎筆
江戸時代・19世紀



(部分)

近代の美術

-4/19(日)

◎褐釉蟹貼付台付鉢

初代宮川香山作
明治14年(1881)
第二回内国勸業博覧会出品



明治を代表する陶芸家で、世界に名高い
初代宮川香山による出色の作です



6/9(火)-7/26(日)

江戸婦女

楊洲周延筆
明治時代・19世紀
シカゴ・コロンブス世界博覧会事務局寄贈

保存と修理

法隆寺献納宝物には、人から人に伝えられたもの(伝世品)としては世界最古の染織品が多数残されています。製作以来1400年近く経つため、繊維は著しく劣化した状態にあります(参考画像をご参照ください)。本コーナーでは、貴重な染織品の数々を保存管理し、次世代へ継承していくための試みをご紹介します。法隆寺宝物館第6室の、染織品の展示とあわせてご覧ください。



「法隆寺上代裂の修理保存」コーナーの様子



【参考画像】
未修理の上代裂(展示予定はありません)

ミュージアムショップ

ミュージアムショップでは、当館の出版物をはじめ、収蔵品をもとにデザインしたミュージアムグッズを販売しています。



マスコット 朝顔狗子図 1,210円(税込)

当館所蔵の円山応挙筆「朝顔狗子図彩戸」に描かれた子犬をモチーフにしたマスコットです。愛らしい表情や姿そのままに再現し、ふわふわの手触りも魅力。朝顔のチャームもついています。

日本文化のひろば (体験型展示スペース)

日本手話によるドラマ仕立ての動画「時を旅する」を上映しています。当館の紹介をする動画で、日本語字幕でもお楽しみいただけます。ろう者の監督、出演者、スタッフと一緒につくったこの動画には、当館の魅力が詰まっています。一息ついて休憩しながら、ぜひご覧ください。



動画「時を旅する」のサムネイル画像

本動画は、当館のYouTubeチャンネルからもご覧いただけます



令和8年度 東京国立博物館ボランティア募集のお知らせ

令和8年(2026)9月から活動を開始するボランティアを、75名程度募集します(任期は4年半を予定)。募集要項や募集説明会など、詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

募集要項はこちら



本館1階
みどりのライオン
でのボランティア
活動の様子

文化財がもつ力を、能登のために。

—「ひと、能登、アート。」文化財(アート)がつなぐ。Art for the Noto Peninsula

2024年1月に発生した能登半島地震、さらに同年9月の奥能登地域における豪雨災害により被災された皆様に寄り添うべく、復興を支援する想いを込めた事業を2025年度に当館が主体となって実施しました。この取り組みは展示・映像・普及の3事業で構成されており、今回はそのうちの普及事業についてご紹介します。



プログラムを通じて、多くの気づきが我々にもありました



鑑賞体験後は、思い思いの「松林図」をスタンプで表現してもらいました



事業には当館のさまざまな部署の職員が参加し、各校で協力して授業を実施しました

普及事業では、能登(石川県)ゆかりの国宝「松林図屏風」の高精細複製品等を使用した訪問授業を、輪島市、七尾市、志賀町に所在する小中学校等教育機関・計16校で実施しました。復興途上の厳しい環境のなかで、授業の実施を希望して下さった学校の皆様に感謝を申し上げます。

今回、参加する児童・生徒の皆様たちが生まれ育った能登出身である長谷川等伯が描いた作品の複製を身近でみることによって、文化が自分たちの今につながるものであることを実感し、未来に受け継いでほしい、そうした思いを込めて普及事業(鑑賞プログラム)を実施しました。高精細複製品の鑑賞では「何が描かれているようにみえるか」「描かれていないけれど感じるものはあるか」を引き出すための問いに対して、児童・生徒の皆様は自分がみえたものや感じたことを、その学年なりの豊かな日本語表現を用いて意見を伝えてくれました。さらに周囲の意見を受容して思考を深めることにより、意見の多様性を実感した様子もうかがえました。

この鑑賞体験が、長い歴史のなかで人々の生活が育んできた「地域の文化」を守り伝える心を育む機会となれば、そして、感じて、考えた体験が生きる力になることを願っています。(小島有紀子)

東博のお仕事

博物館の活動は、展示や催し物、文化財の調査研究や保存、情報アーカイブなど、多岐にわたります。当館の運営に関わる仕事を、さまざまな角度からご紹介します。

8 博物館情報課 ～写真資料整理～



北條 緋菜(左)、肉倉 汐莉(右)
博物館情報課 写真資料整理担当

法隆寺宝物館第3室がお気に入り(北條)
写真を撮ることも好きです(肉倉)

当館では、文化財を撮影した画像を蓄積し、「画像管理システム」に登録しています。モノクロおよびカラーフィルムのスキャン画像約30万枚に加えて、2025年11月、デジタル撮影画像の登録枚数が20万枚を超えました。

1. 文化財写真の撮影から登録まで

文化財の撮影は、作品の担当研究員の立ち合いのもと、専門のカメラマンによって行われます。写真資料整理室は、その画像データと、撮影した画像の被写体(作品)情報、画像情報(撮影日や撮影者等)を整理し、「画像管理システム」へ登録しています。その際、画像1点ずつに画像番号を付与することで、膨大な画像を識別し管理しています。

「画像管理システム」の画面



記念すべき20万枚目のデジタル撮影画像
画像番号はE0200000です
墨梅図軸 陳録筆 中国・明時代・正統11年(1446)
市河三兼氏寄贈(本作品の展示予定はありません)

「画像管理システム*」で 文化財写真を一元管理

*「画像管理システム」とは
当館にて撮影した文化財の画像を管理する業務用のデータベース。職員が画像を利用する際に使用しています。作品画像を多数掲載する本誌作成においても必要不可欠です。

2. 文化財写真の公開と活用

「画像管理システム」に登録された画像は、展覧会ポスターや図録、リーフレットなどの図版として使用されています。同システムは、一部を除き当館の資料館にて閲覧できるほか、「ColBase(国立文化財機構所蔵品統合検索システム)」にも画像を公開しています。今後も掲載画像を拡充していく予定ですので、ぜひご活用ください。



ColBase

画像の活用例。東京国立博物館ガイドマップなど、さまざまな広報物にも「画像管理システム」の画像が活用されています。

今号のイチ推し!

重要文化財 陣羽織 猩々緋羅紗地違鎌模様

武士の装い—平安～江戸

4月14日(火)～6月28日(日) 本館2階

背中の中には「永」の文字が！
リバーシブルだったのかもしれない



重要文化財 陣羽織 猩々緋羅紗地違鎌模様
伝小早川秀秋所用 安土桃山時代・16世紀

マントのような広い袖や立ち襟は、
南蛮人の服装の影響でしょう

背に鎌、胸に祈り、陣羽織に込めた武将の願い

武将たちが陣中で鎧の上から羽織った防寒着のことを陣羽織と称します。陣中では、自分を誇示するために、大胆で遠目にも目立つ個性的なデザインの陣羽織が仕立てられました。陣羽織を仕立てている羅紗の猩々緋とは、中国の伝説に登場する酒好きの妖精・猩々のように鮮やかな赤のこと。その背中にくっきりと黒い鎌がクロスする大胆なデザインが目を惹きます。ビビットな色使いは、この時代にヨーロッパ産の毛織物、羅紗が南蛮貿易を通して日本にもたらされたおかげなのです。家畜を飼育する習慣を持たなかった日本では、毛織物は生産されることのない珍しいもので戦国武将たちに大人気でした。もちろん、毛織物は撥水効果や保温効果などが高く、時に風雨の厳しいなかで戦う武将たちにとっては機能性も兼ね備えていたといえるでしょう。背中の変鎌は、この時代に特有の技法を用いて製作されています。赤い羅紗を鎌の形に繰り抜いて、そのなかに象嵌のように黒と白の羅紗を切り嵌めているのです。

この陣羽織はこばやかわりてあき小早川秀秋(1582～1602)が着ていたと伝えられています。変鎌紋は諏訪明神の神紋でもあり、武芸

の上達や武運を祈る意味が込められています。豊臣秀吉の近親として朝鮮出兵など多くの時を戦場で過ごした若い武将に相応しい、若々しく、覇気あふれるデザインです。着用した姿を想像してみましょう。ちょうど左右の腕の部分に鋭い鎌の刃があたるので、大きく動くたびに鎌を振り翳すかのようにみえたことでしょう。

背中の変鎌な姿ばかりが特に注目されるのですが、実は前からみても面白い意匠が凝らされています。前身頃をあわせる部分は、きくしやもんもようにしほ菊斜文模様錦で鳥居形につくり、西洋の服飾にみられるような赤い小さなボタンでとめる仕組みになっています。鳥居形は、いつ命を落とすともしれない戦場で神の御利益を願ったのでしょうか。裏地はヨーロッパ調の花葉文を織り出した緞子ですが、実際には中国で織られたものです。さらに、隠れた裏地の背中部分に青緑の絹糸で大きく、丸に「永」の文字を、ぬい渡し繡という安土桃山時代特有の刺繍技法で表しています。武勇伝でもしられた秀秋ですが、その一方で命が永らえることを祈っていたのかもしれない。

(小山弓弦葉)

●開館時間

9時30分～17時00分
毎週金・土曜日、5月3日(日・祝)、4日(月・祝)、5日(火・祝)は9時30分～20時00分
黒田記念館は9時30分～17時00分 ※入館は開館の30分前まで

●3-6月の休館日・閉室情報

月曜日(ただし祝・休日は開館し翌平日休館)
※4月7日(火)は臨時休館します。
※本館7～10室、平成館考古展示室は4月7日(火)まで閉室します。
※東洋館8室は3月24日(火)～4月7日(火)まで閉室します。
※3月30日(月)、4月27日(月)、5月7日(木)は臨時開館します。
※特別展、東博コレクション展(平常展)、催し物につきましては、今後の諸事情により予告なく変更する場合がございます。最新情報は、当館ウェブサイトなどをご覧ください。

●観覧料金

一般1,000円、大学生500円
障害者とその介護者各1名は無料。
満70歳以上、高校生以下および満18歳未満の方は無料。
国際博物館の日(5月19日<火>)は、東博コレクション展のみ観覧無料。
特別展などの開館日・開館時間、観覧料金は別途ご確認ください。



東京国立博物館
ウェブサイト
https://www.tnm.jp/

●賛助会のご案内

東京国立博物館の運営趣旨にご賛同いただける方を対象とした寄附会員制度です。個人と団体向けに、それぞれ寄附金額に応じた特典をご用意しています。

●託児サービスのご案内

正門プラザ内託児室にて、託児サービスを実施しています(有料。事前予約制)。
当日空きがあれば、予約なしでご利用いただくことも可能です。



●TNM & TOPPAN ミュージアムシアター 運営終了のご案内

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター(東洋館 地下1階)は、現在上演中のVR作品『洛中洛外図屏風 舟木本』を最終演目とし、2026年3月29日(日)をもって運営を終了します。2007年に資料館で運営を開始して以来、2013年の東洋館でのリニューアルオープンを経て、長年ご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。なお、ミュージアムシアターの運営終了に伴い、当館「友の会」の特典内容が一部変更となります。上演作品および「友の会」特典変更の詳細は当館ウェブサイトよりご確認ください。



●東京国立博物館ニュース 次号のお知らせ

東京国立博物館ニュースをご愛読いただき、ありがとうございます。次号の発行は7月1日(水)を予定しており、内容をリニューアルします。新しい企画や情報をお届けできるよう、現在準備を進めておりますので、ぜひご期待ください。

●特別展チケットプレゼント

弘法大師生誕1250年記念 特別展「空海と真言の名宝」(7月14日<火>～9月6日<日>)の無料観覧券(10組20名様)をプレゼントします。締切は6月30日(火)必着です。
*プレゼントの応募方法 はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事、好きな当館所蔵作品とその理由をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 広報室「ニュース3-6月号」プレゼント係



もっとワクワク、
もっとトーハク。

お目当ての展示を心ゆくまで堪能したあとのもうひとつのお楽しみ。館内のショップめぐり。皆様のお越しをお待ちしています。

東京国立博物館ミュージアムショップ
MUSEUM SHOP

オンラインでもお買い物をお楽しみいただけます。
https://www.tnm-shop.jp/

トーハク ミュージアムショップ

一般財団法人 東京国立博物館協会の

ホテルオークラレストラン ゆりの木

カフェ ゆりの木

博物館構内で食事・喫茶をお楽しみいただけます。ぜひ皆様の憩いの場としてご利用ください。

Hotel Okura

ホテルオークラ ガーデンテラス

※広告掲載についてのお問合せは東京国立博物館広報室まで